

日本レンゲの会事務局会議報告

2010年7月24日 於：事務局

経過報告

1. 神奈川県大和市下和田、東京都府中市押立で、害虫駆除に創意と工夫を繰り返しながらレンゲの育成活動を続けていることに敬意を表し、今後の当会の活動に役立てる。
2. 銀座の屋上でレンゲを公開して下さった「特定非営利活動法人 銀座ミツバチプロジェクト」と、そのレンゲを提供して下さった「株式会社東京園芸倶楽部」に深甚なる謝意を表す。
3. 在京事務局は、府中市押立、高槻市三島江、大和市下和田、多賀城市南宮のレンゲまつりに参加した。

協議事項

1. 地球温暖化による開花時期の変化、湿潤による生育不良の検証を続ける。
2. 来年のレンゲまつりの開催場所は、東京近郊に限定せず柔軟に考える。
3. 今後、当会役員が各地で育成しているレンゲ田畑での行事が可能かどうか検討する。
4. 今秋、東京近郊でレンゲを播種し、来春、花が咲き始めてから害虫がいないことを確認して、都区内で観賞できる場所に移動することも検討課題とする。
5. 会費納入者と活動協力者に、根粒菌を塗した種を9月上旬に送る。
6. 今まで協力してきた幼稚園、児童館等へは、今年も同様の協力をする。
7. 宮城県多賀城市でのレンゲ育成は、環境の変化を考慮し、関係者と協議して播種場所を再検討し、観賞と摘み取りが出来るようにする。
8. 多賀城で、深めの植木鉢に播種し、日照時間の差異を利用し、開花時期を長くして様々な要望に応じられるようにする。

以上